

行政調査報告書「総務企画常任委員会」

平成 26 年 7 月 16 日(水)～18 日(金)

■北海道千歳市『企業誘致の推進について』

千歳市の企業誘致は、新千歳空港を活かした誘致や初期投資を抑える制度の導入(固定資産税の 3 年間補助)、立地補助金の大幅拡充の支援が特徴的である。特に、周辺自治体 7 市 1 町による札幌圏みらいづくり産業立地促進事業補助制度は全国初であり、札幌圏の経済活性化が図られていた。本市においても、県・西三河レベルで情報共有し、広域的な成長を目指す補助等支援制度のあり方について、今後の検討課題であると感じた。



■北海道室蘭市『工場夜景を利用したシティプロモーションについて』

室蘭市の、工場夜景を利用したシティプロモーションは、11 か所の工場夜景スポット、民間事業者による夜景ツアー、市民が夜景づくりに参加できる測量山ライトアップ、グルメをからめた展開など「夜景とグルメ」に焦点を絞り観光客増加が図られていた。今後は、2015 年開業予定の北海道新幹線の効果を、いかに掴むかが課題となっていた。本市においても、「今、あるものをいかに魅せるか」を考え、限られた資源の有効活用を検討すべきと感じた。



■北海道札幌市『総合計画「まちづくり戦略ビジョン」について』

札幌市の総合計画（平成 25～平成 34 年度）は、アンケート・市民会議・子供出前講座・シンポジウムなどを実施など、市民意向を把握するための、市民に親しみやすい計画内容となっていた。また、小中学校向け冊子、授業や家庭での話題づくりを通じて市民との情報共有も図られている。本市の、総合的かつ計画的にまちづくりの長期的な展望を示して魅力あるまちの将来都市像を描く次期総合計画（平成 28～35 年度）の策定を検討する上で参考となった。

